



環境対応型脱脂剤

グランダクリーナー26M-Z

グランダクリーナー26M-Zは、鉄鋼製品及び亜鉛メッキの表面に付着している防錆油、潤滑油、機械油、切削油などの鉱物性の油を浸漬法で除去するノニルフェノール系界面活性剤を含まないアルカリ型クリーナーです。

1. 特 長

- ・ アルミ合金、亜鉛合金、塗装面に付着した油汚れなどの洗浄にも適しています。
- ・ 洗浄力が優れていますので、比較的汚れのひどい処理物でも短時間で除去します。
- ・ 洗浄力の持続性が良いので、脱脂液の更新期間が長くなります。

2. 処理液の建浴方法

処理液の濃度は被処理物に付着している油の程度によりますが、標準使用濃度は処理液量1,000Lに対して、グランダクリーナー26M-Zを30kgの割合で水に溶かします。

グランダクリーナー26M-Z	30kg
水	残
1,000L	

槽に水を入れ加熱し、50℃位の温度でポンプを作動させ、液を攪拌しながらグランダクリーナー26M-Zを30kg少しずつ溶解させます。グランダクリーナー26M-Zの全量を加えたら、水を加え、液面を調整し、規定温度まで加温します。

3. 処理液の管理

標準管理条件	
建浴濃度	30kg/1,000L
遊離アルカリ度	18～24 ポイント
処理温度	50～70℃
処理時間	5～10分

グランダクリーナー26M-Zの濃度は、処理を続けていくと、持ち出しなどにより消費されますから、濃度測定を行い、不足分を補給します。

$$\text{グラндаクリーナー 26 M-Z 補給量 (kg)} = 1.6 \times (P_0 - P) \times V$$

P₀ : 標準濃度

P : 測定濃度

V : 処理液量 (m³)

- (1) 付着している油の種類、汚れの程度により、濃度、温度、時間などの処理条件を変える事があります。
- (2) 脱脂剤にはそれぞれ最適使用温度範囲がありますので、一概に温度を上げれば脱脂力が向上するものではありません。
- (3) 脱脂液のポイントが適正範囲にあっても、油汚れが許容量以上に蓄積しますと脱脂が悪くなりますので脱脂液を廃棄し、グラндаクリーナー 26 M-Z を更新して下さい。

4. 処理液の濃度測定法

処理液10mLを正確にピペットで三角フラスコに採取し、指示薬フェノールフタレインを数滴加え、0.1mol/L塩酸試験液で滴定し、処理液が赤色から無色に変わるまでに要した0.1mol/L塩酸試験液のmL数をポイントといい、処理液の遊離アルカリ度を表します。

5. 荷造容量

グラндаクリーナー 26 M-Z

クラフト袋

20kg詰

資料No.220217



ミリオン化学株式会社

本 社 大阪府吹田市広芝町12-41 TEL 06(4861)8512
営 業 所 関東・名古屋・大阪・西日本(岡山・福岡)